

支部だより/関連学協会情報

● 関 西 支 部

関西支部支部長・常任理事交替
並びに支部事務所変更

1991 年 3 月 27 日開催の支部総会において下記のとおり変更しましたのでお知らせします。

新支部長 浅野 鋼一

(山陽特殊製鋼(株)専務取締役)

新常任理事 齋藤 好弘(大阪大学工学部 教授)

永井 宏(大阪大学工学部 教授)

なお、支部事務所は下記に変更になりました。

〒565 吹田市山田丘 2-1 大阪大学工学部材料物性工学科 幹事 左海哲夫, 真島一彦

TEL 06-877-5111 内線 4407(齋藤), 4408(永井)

5202(左海), 4428(真島) FAX 06-876-4729

なお、支部会員に対する会合等の連絡は、すべて「鉄と鋼」の支部だよりを通じて行うことを原則とし、会員に対して個別に通知することは致しませんので、支部だよりに十分ご注意下さい。

● 東海支部 特別講演会案内

日 時: 平成 3 年 6 月 4 日(火) 13:30~15:00

会 場: 名古屋大学工学部 4 号館 2 階 423 講義室

題 目: 超伝導材料開発の現状と問題点

講 師: 東京大学工学部物理工学科 内野倉國光教授

連絡先: 〒464-01 名古屋市千種区不老町

名古屋大学工学部機能・材料工学教室内

日本鉄鋼協会東海支部 TEL 052-781-5111 内 3372

☆☆☆☆☆☆

第 135 回塑性加工シンポジウム

「電子機器部品に要求される

精密塑性加工技術-Part 2」

1. 共 催: 日本塑性加工学会, 日本機械学会

2. 協 賛: 日本鉄鋼協会, 他

3. 日 時: 平成 3 年 5 月 11 日(土) 9:55~17:20

4. 会 場: 日本工業大学工学部

〒345 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台 4-1-1

TEL (0480)34-4111

5. プログラム:

○最近の精密塑性加工の動向, ○IC の製造技術と塑性加工への要求, ○素材の介在物とせん断性状の関係, ○薄板の打抜き現状と問題点, ○IC リードフ

レームの精密打抜き加工の現状, ○IC リードフレームの曲げ加工, ○プレス機械の動的精度測定と剛性解析の現状, ○最近の精密高速プレス

6. 参加費: 会費 8,000 円, 一般 12,000 円(共催, 協賛学協会員は会員扱い, 学生会員は半額, テキスト代含む)《テキストのみ必要な場合: 会員 5,000 円, 一般 8,000 円》

7. 申込み・問合せ先: (社)日本塑性加工学会

〒106 東京都港区六本木 5-2-5 トリカッビル 3 F

TEL (03)3402-0849 FAX (03)3402-0965

講習会「損傷事例で学ぶ腐食・防食」

1. 主 催: 大阪科学技術センター附属ニューマテリアルセンター

2. 協 賛: 日本鉄鋼協会, 他

3. 期 日: 平成 3 年 5 月 27 日(月), 28 日(火)

4. 会 場: 後楽園会館(労災保険会館)1 階

〒112 東京都文京区後楽 1 丁目 7 番 27 号

TEL (03)3815-8171

5. プログラム

第 1 日(27 日)腐食の電気化学の基礎, 耐食材料, 表面被膜, 防食設計。

第 2 日(28 日)防食管理, 環境処理, 電気防食, 腐食試験法, 腐食寿命予測。

6. 参加費(2 日間): ニューマテリアルセンター会員 30,000 円 非会員 40,000 円

[テキスト「損傷事例に学ぶ腐食・防食」(定価 8,000 円), 消費税を含む]

7. 定 員: 100 名(満員になり次第締切)

8. 申込み・問合せ先: 〒550 大阪市西区靱本町 1-8-4

(財)大阪科学技術センター附属ニューマテリアルセンター TEL (06)443-5321 FAX (06)443-3767

第 12 回国際会議のための準備セミナー

(英語によるプレゼンテーションの実際)

1. 主 催: 日本工学会

2. 対象者:

・国際会議で発表する予定のある方

・英語によるプレゼンテーション能力の向上を図りたい方

3. 日 時: 1991 年 5 月 18 日(土) 9:00~20:00

19 日(日) 9:00~17:00

(集合: 5 月 17 日(水) 18:00 現地)

4. 講 師: 日本工学会 理事 肥田良夫, 他

5. 会 場: 海外職業訓練センター研修施設

千葉市ひび野 1-1 TEL (0472)76-0211

6. 参加費：80,000 円（資料代、懇談会費等を含む）
7. 宿泊費：17,000 円（2 泊、食事付）
8. 定 員：18 名
9. カリキュラム
国際会議の概要：国際会議参加の準備：プレゼンテーションの実際：プレゼンテーションの評価と練習法。
10. 参加申込方法
(1) 参加申込みを希望される方は下記に詳細パンフレットをご請求下さい。
(2) 申込締切は 4 月 30 日（火）日本工学会必着です。
11. パンフレット請求先：
〒107 東京都港区赤坂 9-6-41 日本工学会
TEL (03)3475-4621 FAX (03)3403-1738

第 85 回腐食防食シンポジウム

硫化水素代替腐食試験法

— $S_2O_3^{2-}$ による代替の可能性—

1. 主 催：腐食防食協会
2. 協 賛：日本鉄鋼協会、他
3. 日 時：平成 3 年 5 月 28 日（火）10:00～17:00
4. 場 所：日本ビルディングセンター 集会室
東京都中央区銀座 2-6-4 プレイガイドビル 3 階
TEL (03)3562-2691
5. プログラム
(1) 腐食因子としての H_2S と $S_2O_3^{2-}$, (2) $S_2O_3^{2-}$ イオンによる低合金鋼の SSC, (3) ステンレス鋼・高合金の SCC, (4) $S_2O_3^{2-}$ イオンによるステンレス鋼の隙間腐食
6. 参加費：会員および協賛学会会員（一名あたり）4,000 円、会員外 7,000 円
7. 申込み・問合せ先：〒113 東京都文京区本郷 4-1-11 YK 本郷 2 F （社）腐食防食協会
TEL (03)5689-3390

混相流レクチャーシリーズ

「基礎から最前線まで」

—流体・固体二相流の基礎と輸送技術—

1. 主 催：日本混相流学会
2. 協 賛：日本鉄鋼協会、他
3. 日 時：平成 3 年 5 月 28 日（火）10:00～17:00
5 月 29 日（水）10:00～17:00
4. 場 所：大阪駅前第 3 ビル 16 階 大阪市立大学文化交流センター
〒530 大阪市北区梅田 1 丁目 1 番 3-1700
TEL (06)344-5425

5. 講演題目
5 月 28 日（火）
○ 固気混相流輸送装置の方式と計画法、○ 最近の固気二相流の実際と応用、○ 製粉工場における空気輸送の実施例、○ ごみ空気輸送システムとその実際、○ 圧縮空気による光ファイバー等の通線技術
5 月 29 日（水）
○ スラリーの管内流動、○ 固液二相流の計測技術、○ スラリーパイプラインの設計法と輸送機器計画、○ 浚渫船と土砂のスラリー輸送、○ ダム堆砂スラリーの輸送試験
6. 参加費：（参加者にはテキストを一冊無料贈呈いたします） 会員（協賛学協会会員を含む）15,000 円（両日参加の場合）、12,000 円（一日参加の場合）、学生 4,000 円
7. 定 員：100 名
8. 申込先：〒659 兵庫県芦屋市公光町 9-7-202（株）学術出版印刷内
日本混相流学会 企画運営委員会
TEL (0797)38-3390 FAX (0797)38-3351
9. 申込締切：5 月 18 日（土）
10. 問合せ先：〒558 大阪市住吉区杉本 3-3-138 大阪市立大学工学部機械工学科 東 恒雄
TEL (06)605-2666 FAX (06)605-2769

遷移温度域での劈開破壊靱性標準試験法に

関するシンポジウム

—脆性-延性破壊遷移—

1. 共 催：日本材料強度学会、日本学術振興会先端材料強度第 129 委員会
2. 協 賛：日本鉄鋼協会、他
3. 日 時：平成 3 年 6 月 20 日（木）14:00～16:40
4. 場 所：電気通信大学
東京都調布市調布ヶ丘 1-5-1
5. 演題
(1) 特別講演 破壊力学・破壊物理学における盲点、誤り、正しい認識と新しい概念の必要性
(2) 遷移温度域での劈開破壊靱性試験法の標準化に関する Round Robin Test 経過報告
(3) 溶接部 CTOD 値に及ぼす局部脆化域 (LBZ) の影響に関する確率論的検討
(4) き裂の特異応力場近傍の Dislocation Free Zone の解析と脆性-延性遷移への応用
(5) 鋼の靱性のばらつきとその機構
(6) 確率論的局所応力条件と破壊じん性
(7) 環状切欠引張試験による遷移温度域靱性値の評価

- (8) 遷移温度域での破壊じん性とひずみ速度
6. 聴講無料. 講演論文集 (4,000 円) 当日会場で頒布
7. 問合せ先: 日本材料強度学会
〒980 仙台市上杉一丁目 17-18 銅谷ビル 802 安全
強度研究会内 TEL (0222)65-7843

金属学会セミナー

磁性材料入門—基礎から先端材料まで

1. 主 催: 日本金属学会
2. 協 賛: 日本鉄鋼協会, 他
3. 期 日: 1991 年 6 月 28 日 (金), 29 日 (土)
4. 会 場: 石川島播磨重工業(株)豊洲総合事務所 3 号
館 4 階ホール 東京都江東区豊洲 3-2-16
TEL (03)3534-2284
5. 講義:
第 1 日 (6 月 28 日)
磁性材料の基礎, 動的磁化と酸化物磁性材料
(特別講義): 材料技術—展望と期待, 磁芯用珪素鋼
板の最近の進歩, 合金系高透磁率材料, 磁歪・磁気
抵抗材料
第 2 日 (6 月 29 日)
永久磁石の基本特性と合金系磁石材料, 酸化物磁性
材料, 希土類磁性材料, 光磁気記録材料, 磁気記録
媒体材料
6. 受講料: (テキスト代含・消費税込)
会員 26,000 円 学生会員 8,500 円 (協賛学協会会員
は会員扱い)
7. 募集定員: 150 名
8. 申込先: 〒980 仙台市青葉区荒巻字青葉
日本金属学会 TEL (022)223-3685

第 2 回熱物性セミナー

1. 主 催: 日本熱物性学会
2. 協 賛: 日本鉄鋼協会, 他
3. 日 時: 平成 3 年 7 月 5 日 (金) 9:30~17:00
4. 場 所: 日本女子大学桜楓館ホール
東京都文京区目白台 1-16-7
5. 参加申込: 定員 (150 人) になり次第締切
6. 題目:
(1) 熱物性データの探し方, 使い方
(2) 固体の熱物性測定
(3) 液体の熱物性測定
(4) 省エネルギー建築と熱物性 (建材試験センター)
(5) エレクトロニクス製造プロセスにおける熱物性
(6) 食品の凍結乾燥プロセスにおける移動物性値の
計測
(7) 熱工学におけるふく射物性の考え方と測定法

- (8) データベースの利用法—流体—(デモンストレー
ション)
- (9) データベースの利用法—固体—(デモンストレー
ション)

7. 参加費 (テキスト II (予稿集) の代金を含む):
主催・協賛学会員 3,000 円, 学生 2,000 円,
非会員 6,000 円
テキスト I (熱物性ハンドブック) は別売 (参加者
特価 8,000 円)
8. 問合せ先: 〒305 つくば市梅園 1-1-4 電子技術総
合研究所エネルギー材料研究気付
第 2 回熱物性セミナー実行委員会事務局
TEL (0298)58-5753 FAX (0298)58-5754

システム制御情報チュートリアル講座 イーブニングスクール (I) コース 「デジタル制御理論入門」

1. 主 催: システム制御情報学会
2. 協 賛: 日本鉄鋼協会, 他
3. 日 時: 1991 年 7 月 1 日 (月)・3 日 (水)・8 日
(月)・10 日 (水)・12 日 (金) の 5 日間
各日 18:00~20:30
4. 会 場: 大阪マーチャングイズマートビル
大阪市中央区京橋 1-7
5. 定 員: 40 名
6. 聴講料 (全日のみ/消費税込):
会員 (協賛学協会会員含む) 25,000 円
学生 20,000 円
7. 講義概要:
デジタル制御の基礎理論についてわかりやすく解
説する.
第 1 日: デジタル制御系の基本構造とデジタル
信号の表現法
第 2 日: Z 変換の性質, サンプラーとホールド回路
第 3 日: パルス伝達関数と計算機のプログラム
第 4 日: デジタルシステムの応答
第 5 日: 閉ループ制御系の性質
8. 申込先: 〒606 京都市左京区吉田河原町 14 番地
近畿地方発明センタービル内
システム制御情報学会 チュートリアル講座係
TEL (075)751-6413 FAX (075)751-6037

第 3 回触媒・表面を学ぶ塾

1. 主 催: 近畿化学協会
2. 共 催: 日本鉄鋼協会, 他
3. 日 時: 平成 3 年 7 月 3 日 (水)~5 日 (金)
10:00~17:00

4. 会 場：大阪市立工業研究所
大阪市城東区森の宮 1 丁目
5. 演題：
7 月 3 日 表面の視かた探りかた，FT-IR・ラマン，
FPMA による薄膜・微粒子の分析
7 月 4 日 XPS：基礎から応用まで，オージェ電子
分光（AES）とイオン散乱分光，二次イオン質量分
析による表面分析
7 月 5 日 高分解能 NMR の高分子化学への応用，
走査型トンネル顕微鏡，X 線吸収法（EXAFS/
XANES）による表面種の構造解析
6. 参加費：主催，共催団体会員 40,000 円（含テキスト）
同 上 学生会員 5,000 円（同 上）
7. 申込み・問合せ先：近畿化学協会 触媒・表面部会
〒550 大阪市西区靱本町 1-8-4 大阪科学技術セン
ター 6 F TEL (06)441-5531

**金属学会セミナー
電子論と材料科学への応用**

1. 主 催：日本金属学会
2. 協 賛：日本鉄鋼協会，他
3. 期 日：1991 年 7 月 12 日（金），13 日（土）
4. 会 場：日本私学振興財団 講堂
東京都千代田区富士見 1-12-20
TEL (03)3230-1326
5. 講義：
第 1 日（7 月 12 日）
やさしい電子の話 I—バンド理論，II—固体中の電
子の新しい概念；格子欠陥の電子状態と原子間結合；
光と電子の相互作用—光電子分光を中心に。
第 2 日（7 月 13 日）
固体の表面状態；乱れた系の電子状態；メゾスコ
ピック系の物理；高温超伝導体の電子状態と超伝導
特性；総合質疑応答。
6. 受講料：（テキスト代含む・消費税込み）
会員 26,000 円 学生会員 8,500 円（協賛学協会会員
は会員扱い）
7. 募集定員：130 名
8. 申込先：〒980 仙台市青葉区荒巻字青葉
日本金属学会 TEL (022)223-3685

**平成 3 年度溶接工学夏季大学
溶接・接合部の品質と構造信頼性**

1. 主 催：溶接学会
2. 協 賛：日本鉄鋼協会，他
3. 期 日：平成 3 年 7 月 17 日（水）～19 日（金）
4. 会 場：三田出版会大会議室

- 大阪市北区中崎西 2 丁目 4-12 梅田センタービル
31 F
5. 受講料：30,000 円（協賛学協会会員）
5,000 円（学生会員）
 6. 定 員：100 名（申込み先着順）
 7. 講義：
第 1 日（基礎）
○溶接・熱加工における力学的現象とその取扱い，
○溶接・接合部の欠陥並びに品質の劣下機構とその
制御，○溶接・熱加工プロセスにおけるエネルギー
制御
第 2 日（各論，応用）
○接合界面の諸現象への材料科学的アプローチ，○
溶接・接合部の品質の非破壊評価，○溶接・接合構
造体の環境強度と信頼性
第 3 日（応用，トピックス）
○最近の構造用材料の溶接・接合性，○溶接・接合
構造の静的強度特性とその評価，○溶接構造物の性
能の経年変化と余寿命予測，○設計施工における溶
接・接合部の品質保証
 8. 問合せ先：溶接学会
TEL (03)3253-0488～9 FAX (03)3253-3059

第 27 回夏期セミナー

1. 主 催：日本分光学会
2. 協 賛：日本鉄鋼協会
3. 期 日：平成 3 年 7 月 24 日（水）～26 日（金）
4. 場 所：佐和伊会館（茨城県大洗町）
5. 参加費：協賛学協会員 65,000 円
学生会員 40,000 円
○テキスト含む ○2 泊 3 日 3 食付
6. 定 員：60 名（定員になり次第締切）
7. 演題：
（1）レーザー光による深さ方向分析の最近の動向，
（2）オージェ電子分光法による深さ方向分析，（3）
X 線 CT による無機材料の二次元分析，（4）高感度
ラマン散乱による不純物の局所分析，（5）ポジトロ
ン消滅による材料解析，（6）EXAFS による局所構
造評価，（7）X 線の中性子小角散乱による材料解析，
（8）超音波顕微鏡，（9）光散乱トモグラフィ，（10）
近赤外による無侵襲生体計測
8. 参加申込締切日：平成 3 年 7 月 6 日（土）
9. 問合せ先：〒101 東京都千代田区神田淡路町 1-13
クリーンビル 301 日本分光学会
TEL (03)3253-2747 FAX (03)3253-2740

第 13 回燃焼の流体力学と化学国際会議

1. 共 催：日本燃焼学会，他
2. 協 賛：日本機械学会
3. 後 援：日本鉄鋼協会，他
4. 期 日：1991 年 7 月 28 日（日）～8 月 2 日（金）
5. 会議場：名古屋国際センター
〒450 名古屋市中村区那古野
6. 論文募集分野：
層流火炎，乱流火炎，衝撃波によって起きる燃焼・
テトネーション，多相系燃焼，極超音速/超音速燃焼，
燃焼の化学，燃焼の数学的解析，爆発と爆風，燃焼
の数値解析，燃焼の計測，エンジン内燃焼，燃焼の
他の面白い流体力学の分野
7. 問合せ先：名古屋大学工学部航空学科
〒464-01 名古屋市中村区不老町
TEL (052)781-5111 (内)3398
FAX (052)781-4094

**’91 マイクロセンサとマイクロマシニングの
実習付き基礎講座**

1. 主 催：センシング技術応用研究会
2. 協 賛：日本鉄鋼協会，他
3. 期 日：平成 3 年 8 月 26 日（月）～31 日（土）
4. 場 所：大阪府立産業技術総合研究所 研修会館
〒550 大阪市西区江之子島 2 丁目 1-53
5. 講 義：
26 日；（1）センサデバイスのための半導体工学，
（2）センサデバイスの現状と動向
27 日；（3）リソグラフィ技術の基礎，（4）センサ材
料としての薄膜作製技術，（5）マイクロマシニング
技術とその動向
実 習：シリコンマイクロカンチレバーの作製
28 日（水）～31 日（土）のうち 1 日
定 員：20 名（先着順）
参加費：（実習用材料，テキスト代含む）
協賛団体会員 43,000 円，学生 29,000 円
6. 問合せ先：
〒550 大阪市西区江之子島 2 丁目 1-53
大阪府立産業技術総合研究所内 センシング技術応
用研究会 TEL (06)443-1121 FAX (06)443-3137

第 23 回溶融塩化学討論会論文募集

1. 主 催：電気化学協会溶融塩委員会
2. 共 催：日本鉄鋼協会，他
3. 期 日：11 月 21 日（木），22 日（金）
4. 会 場：東北大学工学部 青葉記念会館
仙台市青葉区荒巻字青葉
5. 討論主題：
1) 溶融塩の構造と物性，2) 溶融塩の機能と材料合
成及び表面処理，3) 溶融塩とエネルギー変換，4)
高温化学・プラズマ化学とその応用，5) その他の
高温化学に関するもの
6. 講演申込締切：7 月 20 日（土）
講演要旨原稿締切：10 月 15 日（火）
参加登録締切：10 月 31 日（木）
7. 参加登録費：共催学協会会員 予約 5,000 円（当日
6,000 円），学生会員 3,000 円（当日 4,000 円）
8. 懇親会：11 月 21 日夕刻 会費 6,000 円
9. 申込先：〒980 仙台市青葉区荒巻字青葉
東北大学工学部分子化学工学科内
第 23 回溶融塩化学討論会 世話人 内田 勇
10. 連絡先：TEL (022)222-1800 内線 4360（仁科辰夫）
FAX (022)268-2948（東北大学工学部分子化学工学
科 事務室）

第 31 回真空夏季大学

1. 主 催：日本真空協会
2. 協 賛：日本鉄鋼協会，他
3. 期 日：平成 3 年 8 月 21 日（水）～24 日（土）
4. 場 所：生産性研修会館
静岡県田方郡函南町平井字南谷下
5. 講 義：
第 1 日 真空工学の基礎Ⅰ，Ⅱ
第 2 日 真空計測，真空ポンプ，画像でみる真空大学，
基礎からみた真空システムⅠ，Ⅱ
第 3 日 真空材料とその表面，真空部品とリークテ
スト，薄膜の物性，プラズマと表面，演習
6. 定 員：180 名
7. 参加費：協賛団体会員 55,000 円
学生会員 32,000 円
8. 問合せ・申込先：日本真空協会
〒105 東京都港区芝公園 3 丁目 5 番 22 号（機械振興
会館別館 302 号室）TEL (03)3431-4395

**財団法人 軽金属奨学会
グループ研究助成金応募要領**

1. 交付対象
本助成金は軽金属の学術あるいは技術に関する高度な共同研究の展開をめざすグループに交付する。その構成員は原則として主導的な研究を進める立場にある異なった研究機関の研究者（大学教授等）2 名以上とし、相互に共同して緊密な連絡のもとに行う研究を対象とする。
なお、外国の大学等研究機関の研究者を研究分担者として行うことができる。
2. 研究内容
軽金属に関する学術あるいは技術への確実な寄与が期待され、かつ、着眼点または研究方法が独創的な研究とする。
3. 研究期間 3 年
4. 採用件数 1 件
5. 助成金額 1,500 万円を限度とする。ただし、単年度 500 万円以内
6. 申請方法
(1) 申請者 グループ研究代表者
(2) 申請書様式 本財団所定の申請書様式による。
(3) 送付先
〒541 大阪府中央区北久宝寺町三丁目 3 番 8 号（住生下島ビル） 東洋アルミニウム株式会社 気付
財団法人 軽金属奨学会 TEL (06)271-3151
(4) 申請期限 9 月末日
7. 選 考
本財団内に設けられた選考委員会によって選考を行い、その結果は 12 月末までに通知する。
8. 助成金の交付、研究報告など上記奨学会宛お問い合わせ下さい。

(財)軽金属奨学会課題研究助成金応募

1. 特定課題：「高性能軽金属材料の開発に関する研究」
2. 研究期間：原則として 2 年
3. 採用件数：1 件
4. 助成金額：1,000 万円を限度とする。
5. 申請期限：5 月末日
6. 問合せ・送付先：
〒541 大阪府中央区北久宝寺町三丁目 3 番 8 号（住生下島ビル） 東洋アルミニウム株式会社 気付
(財)軽金属奨学会 TEL (06)271-3151

工業統計調査のポスターにあなたの作品を

1. 応募資格 特に制限はありません。
2. 応募作品の内容
(1) 応募作品は未発表のもので、製造業を営む事業所の方々が工業統計調査に対する理解を深め、調査への協力が得られるような内容のものとします。
(2) 応募作品の規格等
ア) 用紙は日本工業規格 A 2 版（横 42 cm, 縦 59 cm）を縦長に使用すること。
イ) 使用する色は 4 色以内のこと。
(ただし、白色は 1 色と数えませんが、使用している 2 色を混ぜて使った場合は、3 色と数えます。)
ウ) 図案には、「通商産業省」「工業統計調査」「平成 3 年 12 月 31 日」の文字を必ず入れること。
エ) 写真の使用は認めない。
オ) 応募作品の裏面には、「住所」「氏名」「電話番号」「職業（学生の場合は学校名、学年）」を必ず記入すること。
なお、「氏名」「学校名」は略字を使わず正式名称で書き「ふりがな」をつけること。
3. 応募期間 平成 3 年 5 月 1 日から 6 月 30 日（当日消印有効）までとします。
4. 応募方法 作品は、応募者の在住する都道府県の工業統計調査担当部局または通商産業大臣官房調査統計部工業統計課（〒100 東京都千代田区霞が関一丁目 3 番 1 号）あて送付してください。
5. 入選作品の著作権等
(1) 入選作品の著作権は、通商産業省に帰属します。
(2) 印刷等の都合で一部修正することがあります。
(3) 応募作品は返還しません。
6. 入選者等の発表及び賞状の授与等
入選者等の発表については、決定次第「通産省公報」に掲載し、8 月末日までに本人に通知します。
最優秀賞 1 名 通商産業大臣賞状
優秀賞 2 名 調査統計部長賞状
優良賞 若干名 調査統計部長賞状
学校努力賞 若干校 調査統計部長賞状
なお、最優秀賞、優秀賞、優良賞及び学校努力賞（小学校、中学校及び高等学校対象）に対しては、別に、社団法人通産統計協会から会長賞状が授与されるとともに、併せて以下の副賞が贈呈されます。
最優秀賞 10 万円 優秀賞 3 万円
優良賞 記念品 学校努力賞 記念品
7. 問合せ先：調査統計部工業統計課
代表 TEL (03)3501-1511 内線 2391～3
直通 TEL (03)3501-9929